

## 株式会社ワールド 国内小売事業 月次売上概況

会社名 株式会社ワールド  
 代表者名 代表取締役 社長執行役員 鈴木 信輝  
 (コード番号:3612 東証第一部)  
 問合せ先 副社長執行役員 中林 恵一  
 (電話番号:IR室 03-6887-1300)

2022年3月期 (2021/4/1~2022/3/31)		上期						下期					通期			
		4月 Apr.	5月 May	6月 Jun.	7月 Jul.	8月 Aug.	9月 Sep.	10月 Oct.	11月 Nov.	12月 Dec.	1月 Jan.	2月 Feb.	3月 Mar.	2H	Full Term	
売上前年比		伸び率(%)														
国内小売売上	※1	261.8	※5 143.9	77.6				124.0								124.0
店舗売上	※2	399.1	※5 169.8	76.0				134.7								134.7
既存店売上	※3	433.7	182.9	80.0				143.4								143.4
Eコマース売上	※4	99.4	94.6	86.2				92.9								92.9
店舗数		店														
月末(期末)小売店舗数	※2	2,169	※5 2,160	2,146				—								—
出店		19	2	2				23								23
退店		5	※5 11	16				32								32
M&A		0	0	0				0								0
既存店対象店舗数	※3	1,930	1,930	1,925				—								—

注) 当資料は、原則として、翌月の第3営業日を目処に開示しており、速報値を含んでおります。このため、確定値が速報値と異なる場合、翌月の速報発表時に修正してお知らせいたします。  
 また、通期の列においては、当期の期初から当月までの累計値を記載しております。

※1 売上数値は国内小売売上のみに限定されており、国内の卸売上や催事売上、海外売上などを含んでおりません。

※2 店舗売上及び店舗数には、直営店とVSPA(バーチャルSPA)を含んでおり、FG(フランチャイズ)や海外店を含んでおりません。

※3 既存店の定義は新規出店もしくは新規連結(グループ加入)から丸12ヶ月以上経過した店舗であり、前年同月と売場が同区画(同面積)で変動がないものとしており、対象店舗数も毎月変動いたします。

このため、改装等に伴って移設される場合や1日以上休業する場合、既存店から除外しております(ただし、緊急事態宣言に伴う臨時休業店や営業時短店は既存店の対象としております)。なお、既存店にはEコマースの売上を含んでおりません。

※4 Eコマースの売上には、当社グループのブランド各社が自社サイト及び他社サイトで計上した売上を集計しております。

※5 2021年5月の国内小売売上前年比が144.1%から143.9%へ、店舗売上前年比が170.0%から169.8%へ、退店数が10から11へ、月末小売店舗数が2,161から2,160に修正されました。下線部をご確認ください。

## (当月の概況)

休日数(前年差)

当月  前年同月 

・当月は、国内小売売上が前年同月比77.6%となり、内訳は店舗売上が同76.0%、Eコマース売上が同86.2%でした。既存店売上は前年同月比80.0%となり、コロナ感染影響のない前々年比較で68.8%(休日数は2日減)でした。  
 ・月初より緊急事態宣言の延長を背景として週末の店舗営業が前年より制限されたスタートとなり、6/20時点でも週末の休業店舗数が169店、時短店舗数が269店にのぼる状態を余儀なくされました。  
 ・こうして売上獲得の機会が減ったことに加え、前年における在庫消化のためのセール施策の反動もあり、既存店売上が前年同月を下回る結果となりましたが、前々年に対しては5月に比べて改善に転じることができました。  
 ・商品動向としては、梅雨の影響が少なく、本州付近では晴れた日も多く、気温は全国的に高くなったことから、多くのアパレルブランドでシャツが好調を継続したことに加え、半袖ブルオーバーの伸張が目立ちました。  
 ・また、ジュエリー「ココミュニケーション」のイヤークリップや革小物「ヒロコハヤシ」のバッグなどの牽引で堅調な売上を実現したほか、インティメイト「リサマリ」も底堅く売上を伸ばし、ユーズドセレクトショップ「ラグタグ」の復調が鮮明でした。  
 ・EC販路でも、引き続き、前年に比べてプロパー主体且つ値引き率の抑制で採算重視の戦い方を推進しております。売上は前月に続いて前年に届きませんでした。前々年に対しては133.4%と増勢基調を維持しております。  
 ・なお、前年8/5公表の構造改革によるブランド終息の影響は約10%ポイントのマイナス影響と試算されます。これら終息ブランドを除いた存続ブランドベースでは、EC売上が前年比96.0%の結果でした。

お知らせ: 2022年3月期第1四半期決算発表(Tdnet及びホームページでの開示)は、8月4日(水)の予定です。

## (参考: 前期実績)

2021年3月期 (2020/4/1~2021/3/31)		上期						下期					通期			
		4月 Apr.	5月 May	6月 Jun.	7月 Jul.	8月 Aug.	9月 Sep.	10月 Oct.	11月 Nov.	12月 Dec.	1月 Jan.	2月 Feb.	3月 Mar.	2H	Full Term	
売上前年比		伸び率(%)														
国内小売売上		25.4	38.5	91.7	79.6	80.7	74.0	64.4	89.6	76.0	79.1	66.8	84.9	113.0	82.9	73.7
店舗売上		15.2	27.9	84.9	72.9	72.6	68.8	56.3	85.2	71.6	73.5	60.6	78.6	112.3	77.9	67.0
既存店売上		15.5	28.2	85.9	73.9	73.1	69.1	56.8	85.6	72.2	73.8	60.2	81.8	119.1	79.1	68.1
Eコマース売上		122.6	139.2	155.9	136.9	154.8	121.4	139.3	126.2	113.0	124.6	111.5	117.0	116.3	117.8	127.2
店舗数		店														
月末(期末)小売店舗数		2,473	2,470	2,466	2,460	2,429	2,428	—	2,436	2,443	2,444	2,210	2,147	2,155	—	—
出店		19	3	2	3	2	16	45	12	12	3	3	33	44	107	152
退店		8	6	6	9	33	17	79	4	5	2	237	96	36	380	459
M&A		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
既存店対象店舗数		2,169	2,227	2,257	2,246	2,212	2,196	—	2,234	2,259	2,236	2,041	1,923	1,936	—	—